

空き店舗空き家利活用促進に関しまして

増加する空き店舗空き家の利活用に向けての課題の一つとして建築履歴の有無が言われております。しかし築年数が長くなりますと図面や構造計算書、配電・配管図などの情報を紛失され、売買や賃貸による利活用の妨げになることが少なくありません。今後、中心市街地における空き店舗空き家の利活用を促進していくために、物件オーナー様向けに建築履歴の調査事業の実施をご検討いただけますようご案内申し上げます。

実施目的：家屋の老朽化や損傷具合、耐震性を調査し結果を報告書（家歴）として保管することで、安全性や物件価値の判断材料となり、売買、賃貸などの利活用を促進する。

実施機関：一般社団法人住宅医協会

調査項目：劣化、耐震性、省エネ性、温熱性、バリアフリー、火災時の安全性

実施費用：10万円～40万円程度（税別、図面起こしなどは別途）

対象物件：中心市街地の空き店舗空き家

実施期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日

【問い合わせ】美唄市役所経済部経済観光課商工労働係

地域おこし協力隊（中心市街地活性化担当：荒川）

TEL：0126-63-0111（直通）

E-mail：shokou@city.bibai.lg.jp